

大阪経済記者クラブ会員各位

(同時資料提供＝大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、五月会、東京エネルギー記者会)

～大阪城公園における実証事業支援～

次世代型低速自動走行モビリティサービス「iino」の実証の実施について

【お問合せ】大阪商工会議所 経済産業部（竹中、玉川）

TEL 06-6944-6300

080-8942-9748（14日の連絡先）

- 大阪府、大阪市、大阪商工会議所により構成する「実証事業検討チーム（以下、「検討チーム」）」では、昨年7月から、大阪城公園における実証事業の提案を募集していたが、この度、関西電力株式会社（本社：大阪市、取締役社長：岩根茂樹氏）による次世代型低速自動走行モビリティサービス「iino」を活用した移動空間サービスに関する実証を支援する。

- 「iino」は、関西電力株式会社が開発した時速1～5キロメートルの低速で自動走行するモビリティ。今回の実証は、大阪城公園内での実用化を目的としたものではないが、「日本伝統文化×時速5キロメートル」をテーマに、モビリティ上で茶や舞踊、和楽器を中心とした演奏などのコンテンツを提供し、観光地を訪問する外国人観光客を対象に、単なる移動では得られないエンターテインメント性の高い体験を提供する新サービスの開発を目指す。



実施イメージ（提供：関西電力株式会社）

- 具体的には、大阪城公園内（西の丸庭園、城南エリア、市民の森等）において、移動するモビリティ上で、①日本伝統文化（茶、日本舞踊、三味線）に関するパフォーマンス、②複数台のモビリティの同時走行による和楽器を中心とした演奏、③茶・和菓子等のポップアップ式移動販売を行う。
- なお、本実証事業は、関西電力株式会社から大阪城公園での実証事業実施の希望があり、検討チームが窓口となって、大阪市の関連部局と調整を進めてきた。
- 大阪城公園における実証事業の提案募集は、2017年12月の「大阪府・大阪市・経済3団体首脳による意見交換会」において大阪商工会議所の尾崎裕会頭が提案したもの。昨年の7月20日から9月28日の期間に先着5件程度の提案を募集したが、期限を待たず定数の提案があった。昨年12月には株式会社ダイヘンが、今年2月には日本気象株式会社がそれぞれ実証を実施。他の提案についても、今後、準備が整ったものから順次実施していく。
- 検討チームでは、大阪府、大阪市、大阪商工会議所が緊密に連携し、「未来社会の実験場」の実現をめざす2025年大阪・関西万博に向けて、引き続き実証事業支援の取り組みを積み重ね、大阪における新たなビジネス創出に取り組む。

【実施概要】

日程：2019年3月17日（日）～21日（木）

場所：大阪城公園内（西の丸庭園、城南エリア、市民の森） ※詳細は添付資料2参照。

実施主体：関西電力株式会社（本社：大阪市、取締役社長：岩根茂樹氏）

内容：低速（時速1～5キロメートル）で移動するモビリティ上で、以下のコンテンツを提供し、今後のサービス化に向けた実証を行う。

- ① 日本伝統文化（茶、日本舞踊、三味線）に関するパフォーマンス（場所：西の丸庭園）
- ② 複数台のモビリティの同時走行による和楽器を中心とした演奏（場所：西の丸庭園）
- ③ 茶・和菓子等のポップアップ式移動販売（場所：城南エリア・市民の森）

以上

＜添付資料＞ 資料1：関西電力株式会社による本件に関するプレスリリース

資料2：「iino」の走行エリア・スケジュールについて

資料3：今年度に関西電力株式会社、大阪府、大阪市、大阪商工会議所が支援した実証事業一覧

資料4：先端技術を活用した実証事業提案募集 ちらし

次世代型低速自動走行モビリティサービス「iino」の 大阪城公園における実証実験の実施について

2019年3月14日

関西電力株式会社

損保ジャパン日本興亜株式会社

関西電力株式会社（以下、関西電力）および損保ジャパン日本興亜株式会社（以下、損保ジャパン日本興亜）は、このたび、大阪府・大阪市・大阪商工会議所で構成する「実証事業検討チーム」※¹が募集していた「大阪城公園における実証事業」として、「iino」※²を活用した移動空間サービスに関する実証実験を3月17日より実施いたします。

今回の実証実験では、観光地での外国人観光客に向けた低速モビリティを活用したサービスの開始を見据え、『日本伝統文化×時速5キロ』をテーマに、モビリティ上での茶や舞踊、和楽器を中心とした演奏などを提供するものです。低速で移動するモビリティ上で日本伝統文化に関するコンテンツを提供することにより、単なる移動では得られないエンターテインメント性の高い体験の提供に挑戦します。

モビリティサービスについては、関西電力の「iino」を活用し、一部のルートについて自動走行を実施するとともに、損保ジャパン日本興亜による観光施設内での自動走行の安全性を確保するためのリスクアセスメント、走行中の安全性を確保するための遠隔監視（見守り）を行う実証も行うほか、さらに、今回の実証実験をより安心・安全なものとするべく、完全自動運転に対応した専用保険商品の提供も行います。

今後、本プロジェクトは引き続き『〇〇×時速5キロ』（呼称：クロス5キロ）をテーマに、さまざまな業種とタイアップし、これまでにない新しい商品・サービスを開発してまいります。

以 上

※1：大阪府・大阪市・大阪商工会議所で構成され、先端技術を活用した実証実験の実施・成果普及を通じた産業振興、地域経済の一層の活性化を目的に設置されたもの。実証実験への支援は、大阪における新たなビジネス創出を目的に順次実施される予定。

※2：時速1～5キロで自動走行するモビリティを活用したサービスの提供およびモビリティプラットフォーム運用。

別紙1：大阪城公園における実証実験の概要

別紙2：「i i n o」の概要

大阪城公園における実証実験の概要

- (1) 実施内容：低速（時速 1 km から 5 km）で移動するモビリティ上で、以下のようなコンテンツを提供し、今後のサービス化の実証を行う。
- ① 日本伝統文化に関するパフォーマンス型のコンテンツ（茶、日本舞踊、三味線）＜実施場所：西の丸庭園＞
 - ② 和楽器を中心とする演奏を複数台のモビリティを同時走行させるコンテンツ。＜実施場所：西の丸庭園＞
 - ③ 茶・和菓子等のポップアップ式移動販売
＜実施場所：西の丸庭園・城南エリア・市民の森＞
- (2) 実証実験時期：2019 年 3 月 17 日（日）～3 月 21 日（木）
- (3) 実施者：関西電力、損害保険ジャパン日本興亜
- (4) 実施場所：大阪城公園内（西の丸庭園、城南エリア、市民の森等）
- (5) 各社の役割：＜関西電力＞
- ・モビリティ上で提供されるコンテンツの提供
 - ・車両の提供、運行
- ＜損害保険ジャパン日本興亜＞
- ・走行計画の安全性のリスクアセスメント
 - ・実証中の事故に関する保険サービス提供
 - ・実証中の遠隔監視

【実施イメージ】



関係各社の概要

◇関西電力株式会社

設立：1951 年（昭和 26 年）

代表者：岩根 茂樹

所在地：大阪市北区中之島 3 丁目 6 番 16 号

◇損害保険ジャパン日本興亜株式会社

設立：1888 年（明治 21 年）

代表者：西澤 敬二

所在地：東京都新宿区西新宿 1-26-1

「i i n o」の概要

■事業内容：

時速1～5キロで自動走行するモビリティを活用したサービスの提供およびモビリティプラットフォーム運用

■提供価値：

時速1～5キロの特性を活用し、心理的・身体的なリラックス状況の創出、五感機能の拡張など、利便性以外の価値を提供

■ターゲット：

(B t o C)

- ①都市を移動する人のうち、目的地が決まっておらず、回遊を目的としている人
- ②モビリティプラットフォームに置かれるサービスを利用する人

(B t o B)

- ①サービスが導入されるエリアの運営事業者や店舗
- ②モビリティプラットフォームにコンテンツを乗せたい事業者

■ターゲットエリア：

道路交通法に適用されないすべての場所※

※例えば、商業施設の敷地内や遊園地等のリゾート施設の敷地内を指す

■ビジネスモデル：

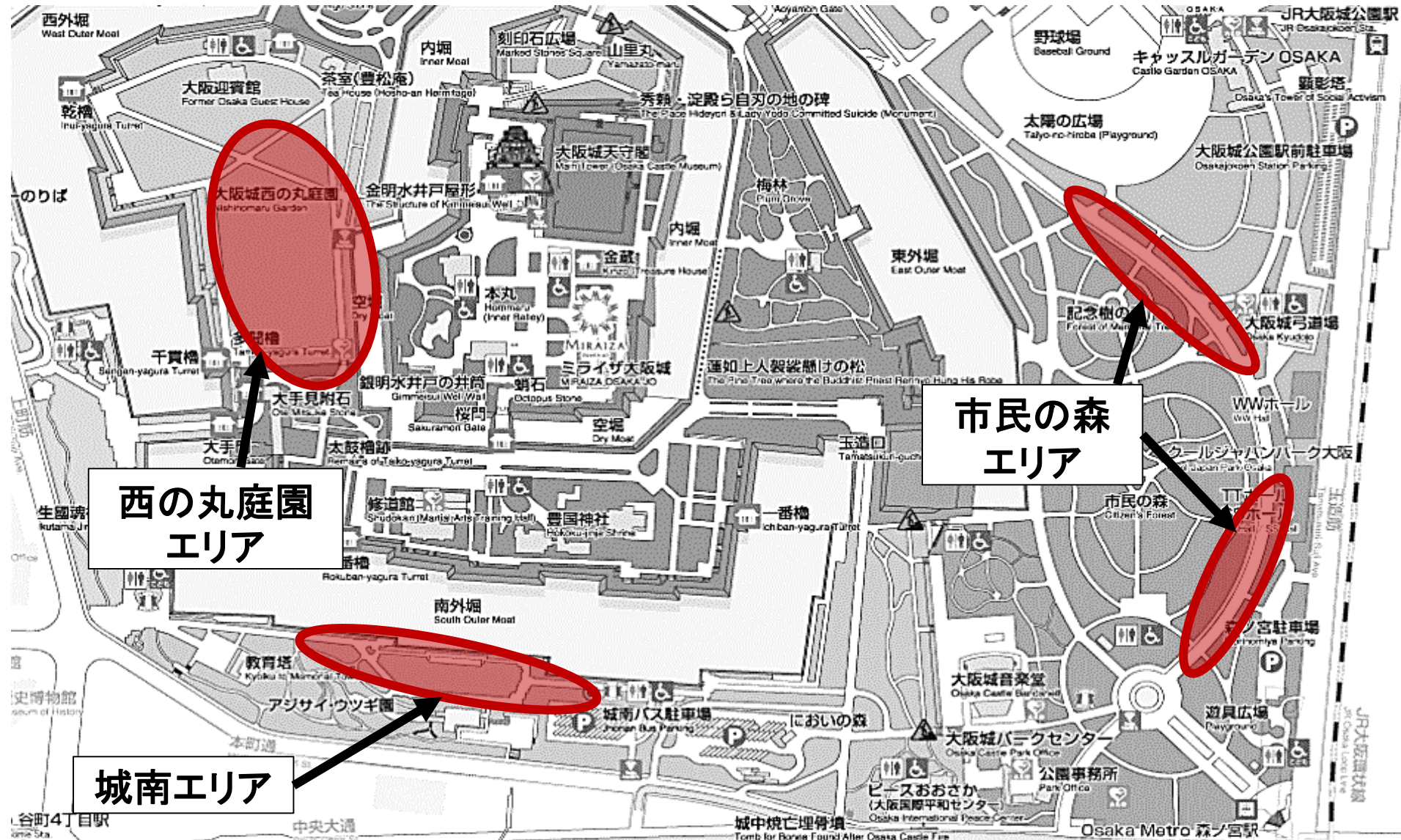
コンテンツ利用料、プラットフォーム利用料、広告宣伝料

■今後の計画：

2019年度から様々なサービス実証をおこない、サービスとしての有用性を確認できたものから順次サービスを開始していく。



○ 走行エリア



○ 走行スケジュール（2019 / 3 / 14 11:00 時点）

【種別の説明】

「日本舞踊」：日本伝統文化（茶、日本舞踊、三味線）に関するパフォーマンス

「和楽器」：複数台のモビリティの同時走行による和楽器を中心とした演奏

「移動販売」：茶・和菓子等のポップアップ式移動販売

1 7 日 (日)	場 所	種 別	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	西の丸庭園	日本舞踊	○	○	○	○	○	○				
		和楽器										
	城南エリア	移動販売	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	市民の森	移動販売						○	○	○	○	
1 8 日 (月)	場 所	種 別	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	西の丸庭園 (休園日)	日本舞踊										
		和楽器										
	城南エリア	移動販売	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	市民の森	移動販売	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1 9 日 (火)	場 所	種 別	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	西の丸庭園	日本舞踊										
		和楽器										
	城南エリア	移動販売	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	市民の森	移動販売	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2 0 日 (水)	場 所	種 別	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	西の丸庭園	日本舞踊		○	○	○						
		和楽器	○				○					
	城南エリア	移動販売		○	○	○		○	○	○	○	
	市民の森	移動販売		○	○	○		○	○	○	○	
2 1 日 (木)	場 所	種 別	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	西の丸庭園	日本舞踊	○	○	○	○	○					
		和楽器				○	○					
	城南エリア	移動販売	○	○	○			○	○	○	○	
	市民の森	移動販売						○	○	○	○	

※本スケジュールは現場状況に応じて変更になる場合があります。

今年度の大阪における実証事業の支援実績

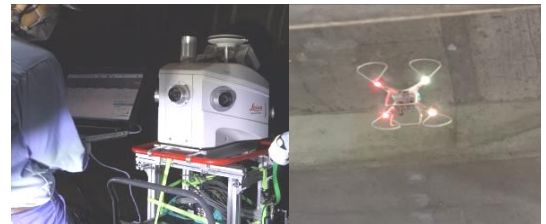
大阪商工会議所

※大阪商工会議所事務局がエントリーを受けたもの

1. ICT 技術を活用した地下河川構造物に対する点検手法の検証

(株)パスコ（本社：東京都、代表取締役社長：島村秀樹氏）から実証事業検討チームに実証実施の希望があり、大阪府を通じて、寝屋川水系の地下施設「三ツ島調節池（門真市）」、「中鴻池調節池（東大阪市）」で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2018 年 8 月 27 日、28 日
- ② 概要：点検が困難な地下河川構造物について、ドローンや各種レーザ計測機器、カメラ画像解析技術等を用いて計測・分析する。
- ③ 今後：実証を通じて収集した計測データをもとに、点検が困難なインフラ施設の新たな点検手法として、適用の可能性の検討に役立てる。



2. 「中之島チャレンジ」における移動ロボットの自動走行技術実証

(株)プロアシスト（本社：大阪市、代表取締役社長：生駒京子氏）から大阪商工会議所に実証実施の希望があり、大阪市を通じて、中央公会堂及び中之島図書館周囲の歩道で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2018 年 9 月 23 日、24 日
- ② 概要：中之島で実施する移動ロボットの屋外走行実験「中之島チャレンジ」において、5 チーム 6 台の移動ロボットが、定められたコースを時速 4 キロメートル以下で自動走行する。
- ③ 今後：実証を通じて収集した走行データをもとに、人が往来する環境における移動ロボットの自動走行技術の開発に役立てる。



3. 超小型電動モビリティ用ワイヤレス充電システムに関する実証

(株)ダイヘン（本社：大阪市、代表取締役社長：田尻哲也氏）から実証事業検討チームに実証実施の希望があり、大阪市を通じて、大阪城公園で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2018 年 12 月 10 日～2019 年 1 月 31 日
※2018 年 10 月 29 日～11 月 2 日にプレ実験を実施
- ② 概要：超小型電動モビリティ用ワイヤレス充電システムと超小型電動モビリティを大阪城公園内に設置。公園内の巡回や設備の確認、点検等に利用することで、車両の消費電力、充電の頻度や時間、バッテリー残量等を計測・分析する。
- ③ 今後：実証を通じて得られたデータをもとに、充電頻度を上げることによる電池容量の削減可能性等の検証に役立てる。



4. 水道使用量データを活用した「見守り・ヘルスケアサポート」の導入に向けた実証

愛知時計電機(株)（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：星加俊之氏）から大阪商工会議所に実証実施の希望があり、大阪市水道局と協議のうえ、両者の共同研究として、大阪市内において実証実験ができるよう調整、支援した。

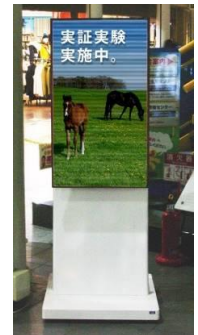
- ① 実施日：2018年12月中旬～2020年3月（予定）
- ② 概要：見守り・ヘルスケアサポートの構築に向け、住之江区安立地区の独居高齢者を中心とした30世帯にスマート水道メーターを設置し、水道使用量データの収集、並びに、AIを活用した分析を行う。
- ③ 今後：実証を通じて得られたデータをもとに、異変検知手法の研究・検証を行い、見守り・ヘルスケアサポートの構築に役立てる。



5. デジタルサイネージを使った集散的視線推定システムに関する実証

大阪大学大学院情報科学研究科・菅野裕介准教授から大阪商工会議所に実証実施の希望があり、大阪市を通じて、アジア太平洋トレードセンター（ATC）で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2018年12月15日～24日
- ② 概要：施設やイベント案内などを目的に設置されているデジタルサイネージに視線推定システムを組み込み、人が行き交う実際のサービス現場での視線推定が可能かを検証する。
- ③ 今後：実証実験を通して得た評価をもとに、広告・マーケティング分野での実用化に取り組む。



6. 大阪上本町駅周辺でのデジタル地域通貨の実用化に向けた実証

近鉄グループホールディングス(株)（本社：大阪市、代表取締役社長：吉田昌功氏）が(株)三菱総合研究所と連携して実施する実証事業において、実証事業検討チームとの連携の希望があり、大阪市を通じて、大阪市の国際交流拠点施設である大阪国際交流センターの飲食施設「ビュッフェ レストラン ラッフィナート」が参加施設となるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2019年2月1日～28日
- ② 概要：総務省の「行政や公共性の高い分野におけるブロックチェーン技術の活用及び社会実装に向けた調査研究」に協力し、大阪上本町駅周辺エリアにブロックチェーン技術を活用したデジタル地域通貨を導入することで、プレミアム付商品券のデジタル化による地域経済活性化の可能性について検証する。
- ③ 今後：利用者の声を収集し、実用化に向けて開発・活用を推進する。

7. ドローンを用いた低層大気の気象観測に関する実証

日本気象(株)（本社：大阪市、代表取締役：鈴木正徳氏）から実証事業検討チームに実証実施の希望があり、大阪市を通じて、大阪城西の丸庭園で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2019年2月25日
- ② 概要：ドローンを複数回にわたって地表から高度150mまで垂直飛行させて各高度における気象データ（気温・湿度・風向風速・気圧）を取得し、都市大気の特徴を把握するために必要な最小限の飛行高度を検証する。
- ③ 今後：取得したデータをもとに、将来の定期観測の基準策定に役立てる。



以上

「実証事業都市・大阪」の実現へ！ 先端技術の実証事業を支援します

大阪府、大阪市、大阪商工会議所は、先端技術を活用した実証事業の実施・成果普及を通じた産業振興、地域経済の一層の活性化を目的に、「実証事業検討チーム」を設置し、大阪での実証事業を希望する事業者を大阪内外から広く募り、実証事業が円滑・効果的に実施できるように支援しています。

スタートアップ、中堅・中小企業から大企業まで、先端技術を活用した実証事業を検討されている方は、ぜひ大阪へ！積極的なご提案をお待ちしています。

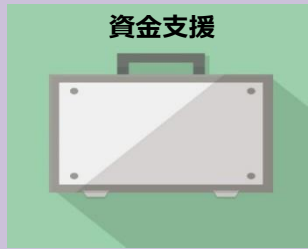
メニュー

フィールド調整



大阪市と大阪商工会議所の包括提携協定*1に基づく施設や大阪府、大阪市の関連施設*2、大阪商工会議所の会員企業等から事業者の希望に沿った実証フィールドを調査、調整

ビジネス化支援



大阪府の補助金*3や大阪府が連携するファンド*4などを通じた資金支援、実証事業実施時のPR支援など、様々な施策・事業によりビジネス化を支援

規制緩和



国家戦略特区を活用した規制緩和を国に働きかけ

対象分野

- ① 先進的なまちづくり
- ② IoT、RT（ロボットテクノロジー）
- ③ 自動運転
- ④ ドローン
- ⑤ AI（人工知能）
- ⑥ ヘルスケア
- ⑦ オープンデータ、ビッグデータ

*1:大阪市と大阪商工会議所の包括提携協定

先進的なまちづくりに資する「実証事業都市・大阪」実現に向けた包括提携協定書。大阪商工会議所が窓口になり、大阪市が管理する公共空間や施設等での実証事業を希望する企業を募って支援する。

*2:大阪市の関連施設

複合商業施設ATCや舞洲のスポーツ施設。



*3:大阪府の補助金

新エネルギー産業（電池関連）創出事業補助金。蓄電池、水素・燃料電池等の関連産業での事業化促進のための実証実験経費等を一部助成（上限は府内企業1000万円、府外企業50万円。補助率は中小企業1/2、それ以外1/3）。平成30年度の申し込み締め切りは6月5日。

*4:大阪府が連携するファンド

おおさか社会課題解決ファンド（大阪信用金庫とフューチャーベンチャーキャピタル(株)が出資、設立）。IoT、AI、ビッグデータ、ロボット等新技術を活用して社会課題解決ビジネスに取り組む企業（主に府内企業）を対象に、500～2500万円を投資する。

基本的なスキーム

事業者

実証事業の実施主体

必要な
費用負担

フィールド
提供

フィールド管理者

大阪府、大阪市の関連
施設や大阪商工会議所
の会員企業等

事業の提案

フィールド調査・
事前協議

実証事業検討チーム

(大阪府、大阪市、大阪商工会議所で構成)

事業者の窓口 = 事務局：大阪商工会議所



大阪府の水みらいセンター（左）や大阪商工会議所（右）などもフィールドとして活用予定

一般的な流れ

事業者

事務局

随時 一週間以内 一カ月程度 二カ月程度 二週間程度

エントリーシートの提出

エントリーシートの受付

電話等による提案内容のヒアリング

フィールド調査・事前協議

今後の見込みや進め方等の連絡

※実施に向けて検討可能な場合

実施内容等の協議・調整
フィールド管理者を交えた

実施可否の判断

結果の通知

※実施可能となった場合

実施にかかる協定書の締結等

実証事業の実施

※上記はあくまで実証事業を実施するまでの一般的な流れです。案件により対応や必要な手続き、要する期間等が異なる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

※実証事業実施後、実施報告をお願いいたします。

提案方法

下記URLよりエントリーシートをダウンロードし、必要事項をご記入の上、大阪商工会議所（E-mail: sangyo@osaka.cci.or.jp）へご提出ください。

https://www.osaka.cci.or.jp/innovation/social_demonstration/jigyyou_entry.xlsx



お問合せ

実証事業検討チーム（大阪府、大阪市、大阪商工会議所で構成）事務局

大阪商工会議所 経済産業部 産業・技術振興担当（竹中、玉川）

TEL:06-6944-6300

E-MAIL:sangyo@osaka.cci.or.jp